

1-Ⅷ その他調査

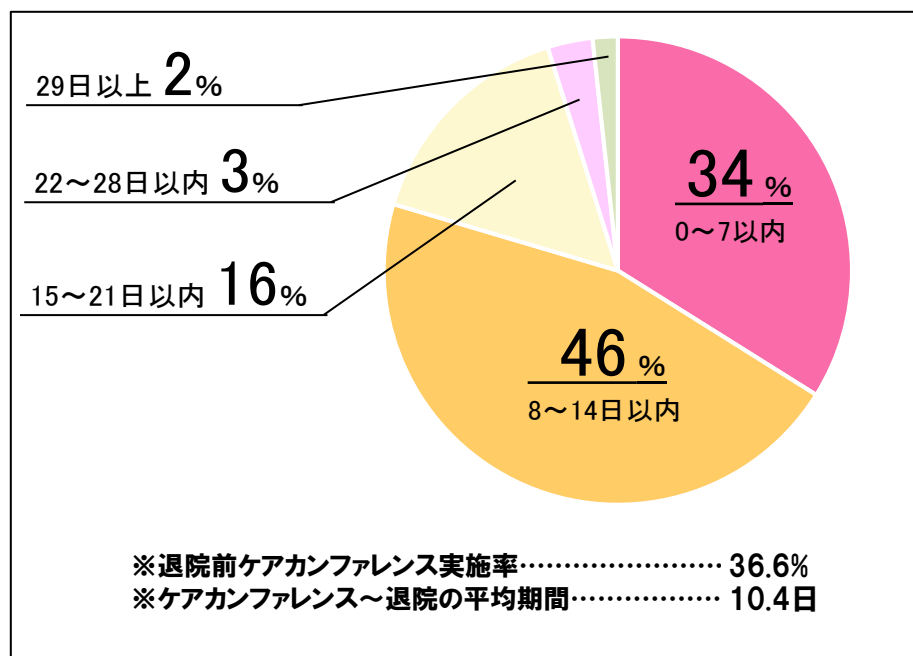
①退院前ケアカンファレンス実施件数 (n=289/789)

退院後に必要な医療・介護・リハビリのサービスを受けていただくためには、退院前にしっかりと準備をしておくことが重要です。

当院では、患者さまやご家族および地域の医療・介護スタッフと十分に情報を共有し、退院後のサービスプランを検討する「退院前ケアカンファレンス」を必要に応じて開催しています。

2025年度は年間289件の退院前ケアカンファレンスを実施しました。

退院前ケアカンファレンスの実施日は退院日の平均10.4日前でした。

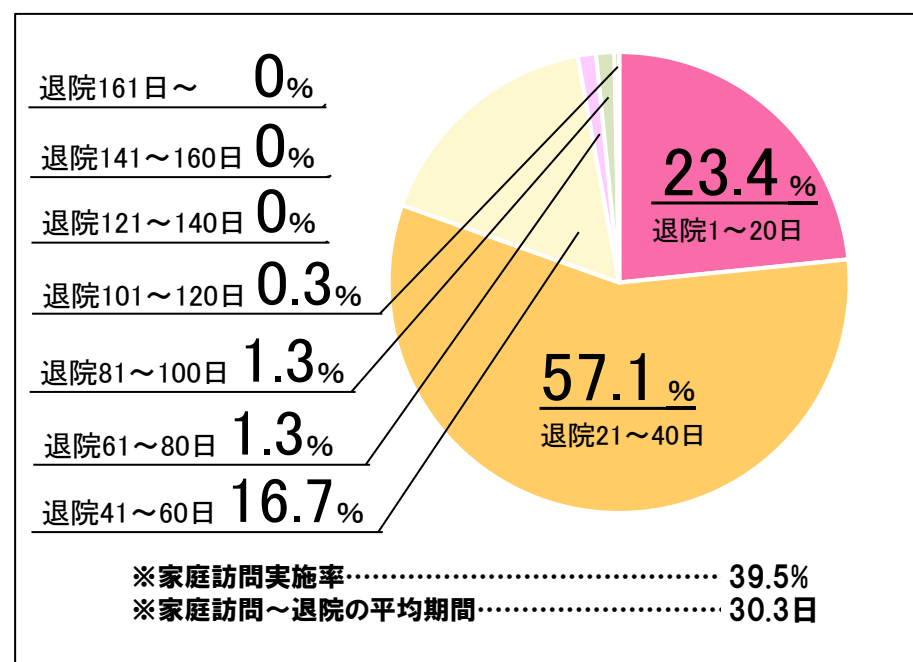


②家庭訪問の実施件数 (n=312/789)

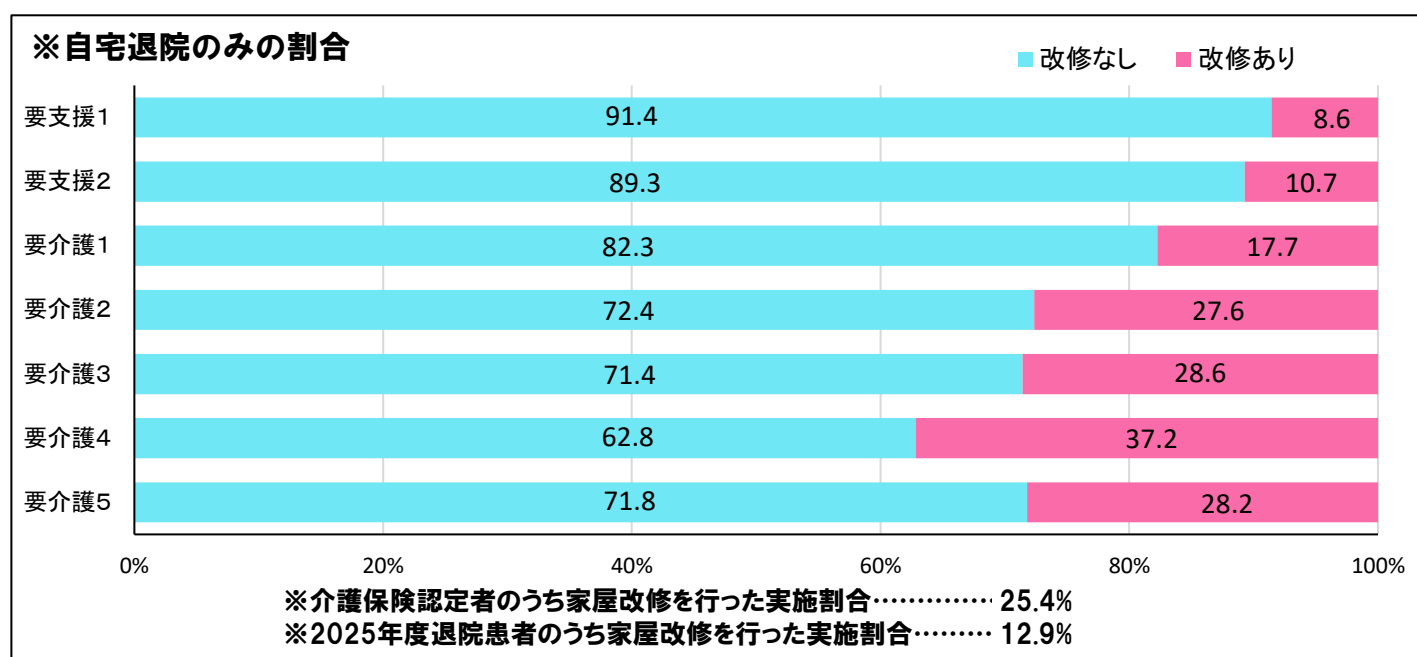
当院では必要に応じて、退院前にスタッフが患者さまのご自宅を訪問し、必要な家屋改修や福祉用具の導入を検討する「家庭訪問」を行っています。

2025年度は年間312件の家庭訪問を実施しました。

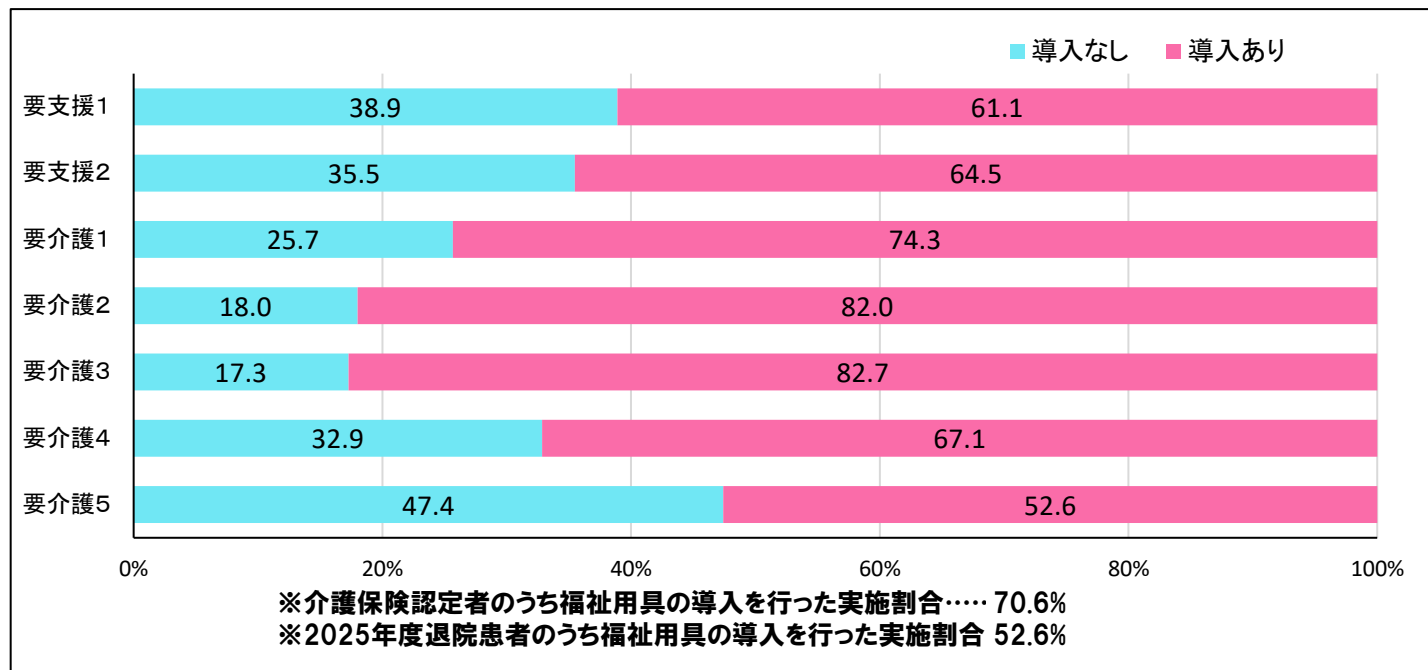
家庭訪問の実施日は退院日の平均30.3日前でした。



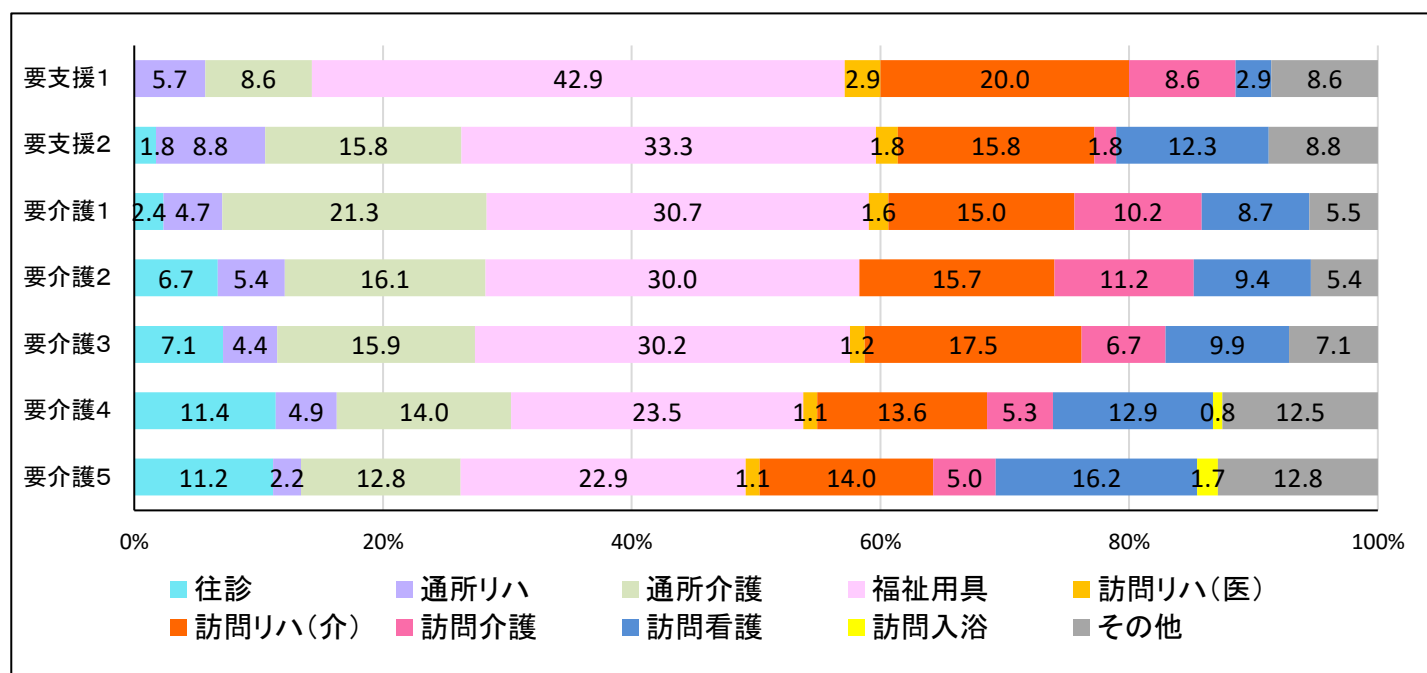
③介護保険認定者のうち家屋改修の有無 (n=102/402)



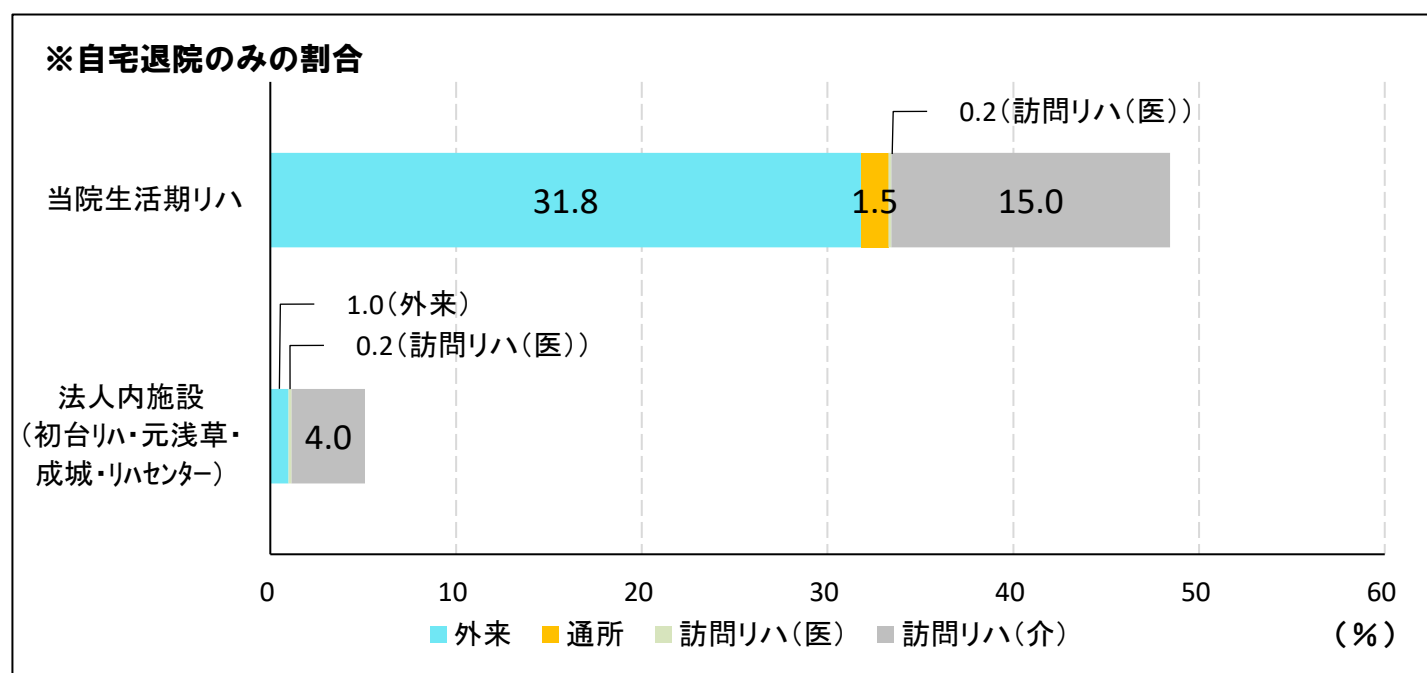
④福祉用具導入の有無（介護度別の割合と全体の割合）（n=415/588）



⑤利用サービスの割合（介護度別の割合）（n=448）

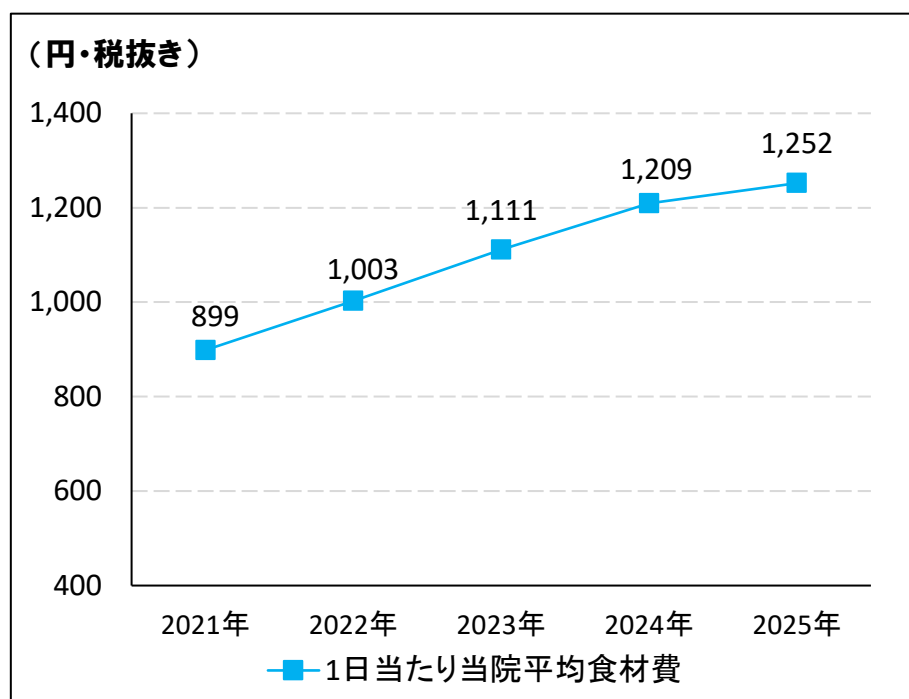


⑥退院患者の生活期リハ（法人内）への移行件数・療法の割合（外来・通所・訪問）（n=607）



⑦患者食の食材費

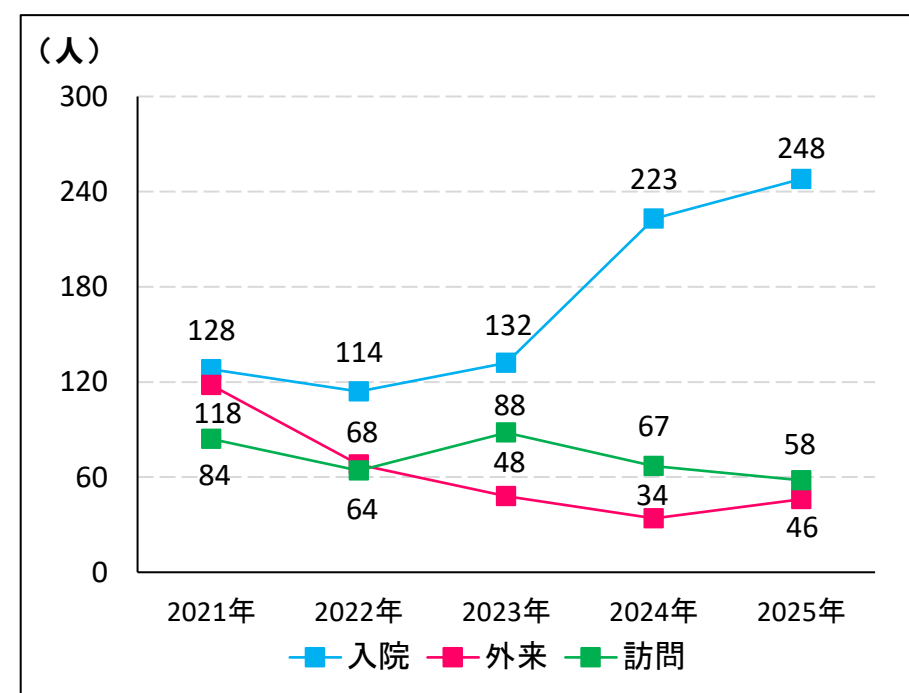
当院では、心身の回復を支える食事提供を大切にしています。
調理は、和食・洋食それぞれの専門調理師が担当し、季節の食材を取り入れた行事食や、日々の食事も和洋から選べる選択食を提供しています。多くの医療機関では温冷配膳車やメラミン食器が一般的ですが、当院では陶器の器を使用し、食堂に隣接しているパントリーから盛り付けてすぐに提供。また、コーヒー・紅茶・ジュースなどの選べるドリンクを用意し、患者様がより美味しく召し上がれる環境を整備しています。



⑧栄養指導件数（入院・外来・訪問）

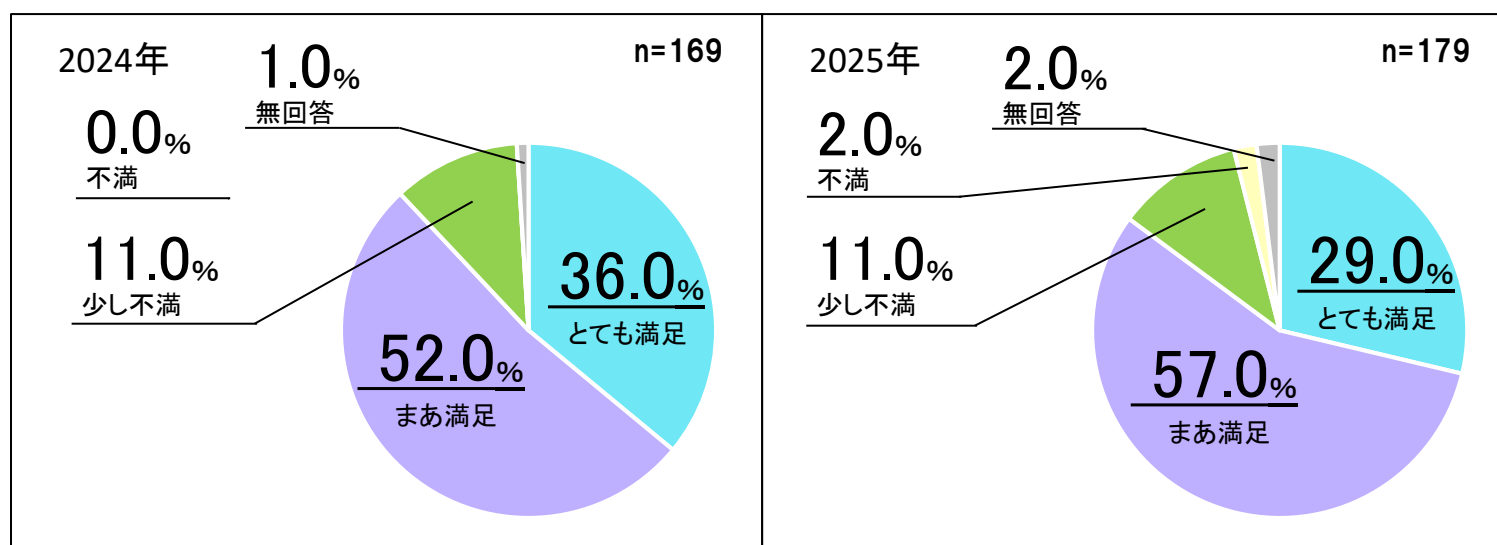
当院では、必要な患者さまに対して、入院・外来・訪問で栄養指導を実施しています。

脳卒中再発予防や生活習慣病の食事管理、食べる機能が低下した方への食形態指導、低栄養改善、体重管理など様々な栄養課題に対し、管理栄養士が個別に栄養指導を実施しています。



⑨嗜好調査（満足度）結果

当院では、年2回、経口摂取の入院患者さまを対象に、食事の満足度に関するアンケート調査を実施しております。その結果、8割以上の方から「満足している」との回答をいただいております。



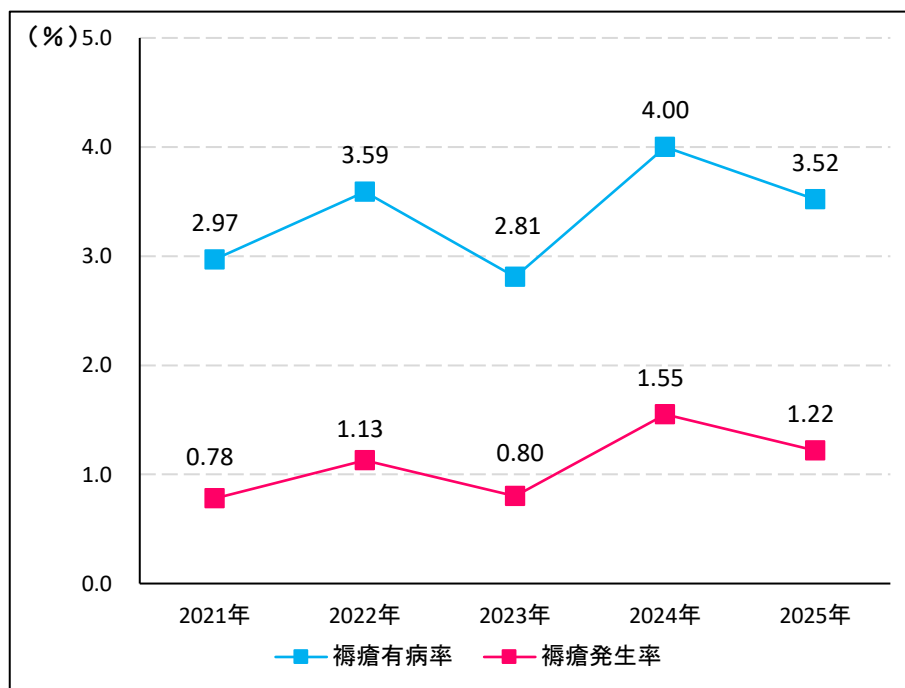
⑩褥瘡の発生率

褥瘡有病率算出方法：

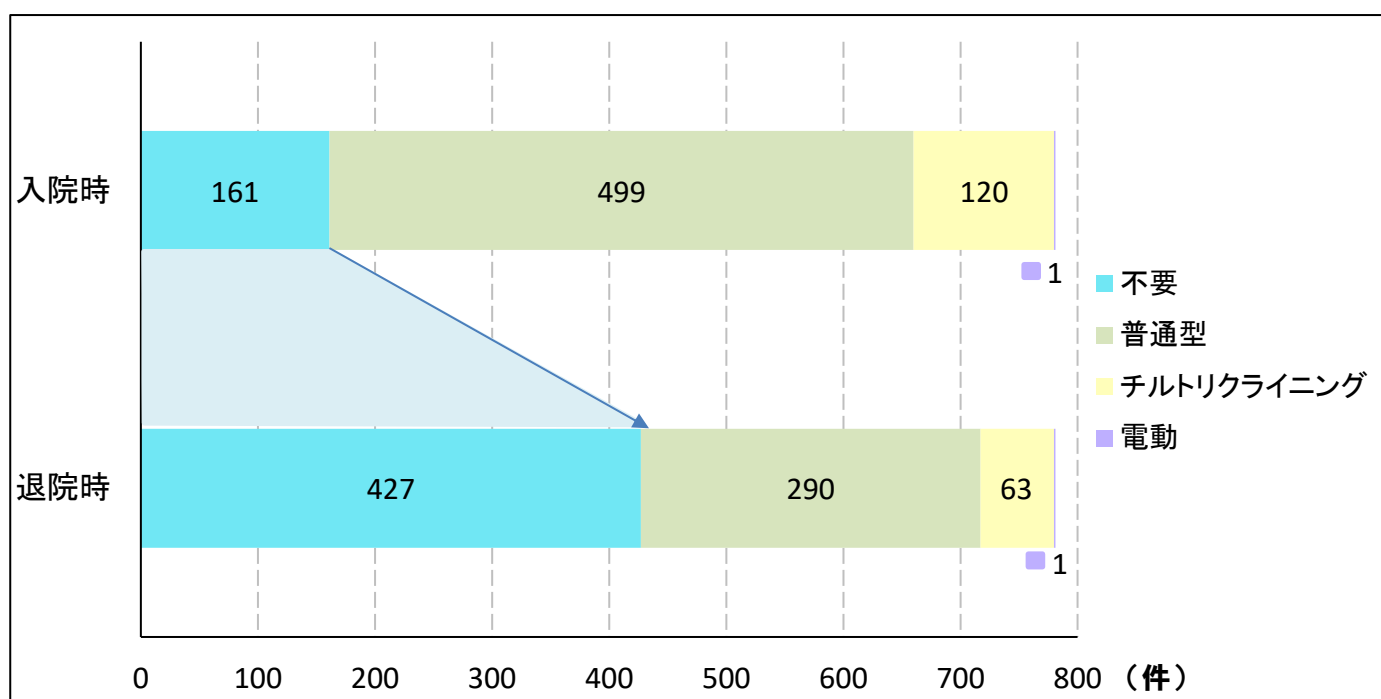
褥瘡保有患者数／入院患者数×100（％）

褥瘡発生率算出方法：

褥瘡保有患者数－持ち込み患者数／入院患者数×100（％）

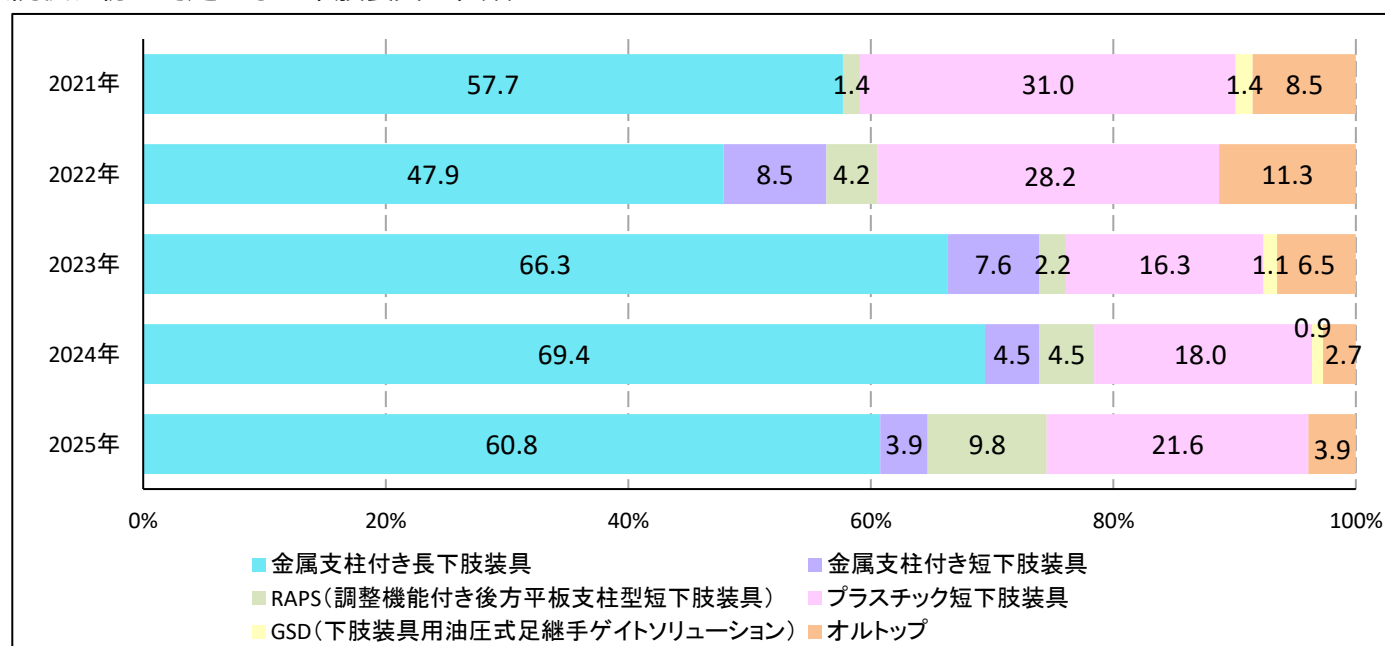


⑪車椅子使用数（入院時・退院時）（n=781）



⑫下肢装具：種類別割合

当院入院後、初めて処方した下肢装具の種類。



⑬ 下肢装具：入院～処方までの期間 (n=102)

当院では、必要な患者さんに対して積極的な装具療法を実施しています。

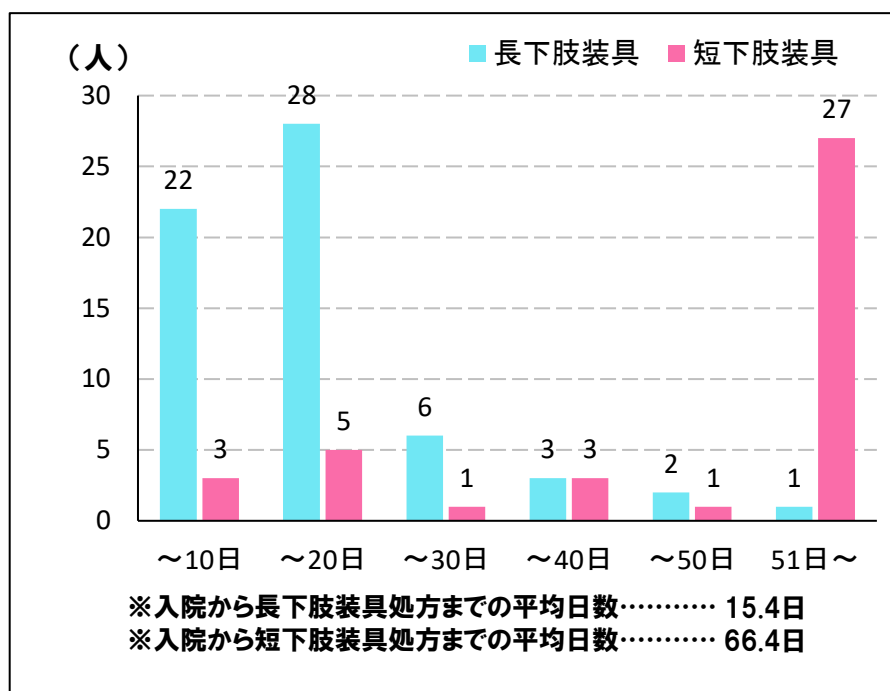
下肢装具とは脳卒中などの病気によって動きにくくなった、または筋力が落ちた足の機能を補うための装具です。

長下肢装具：

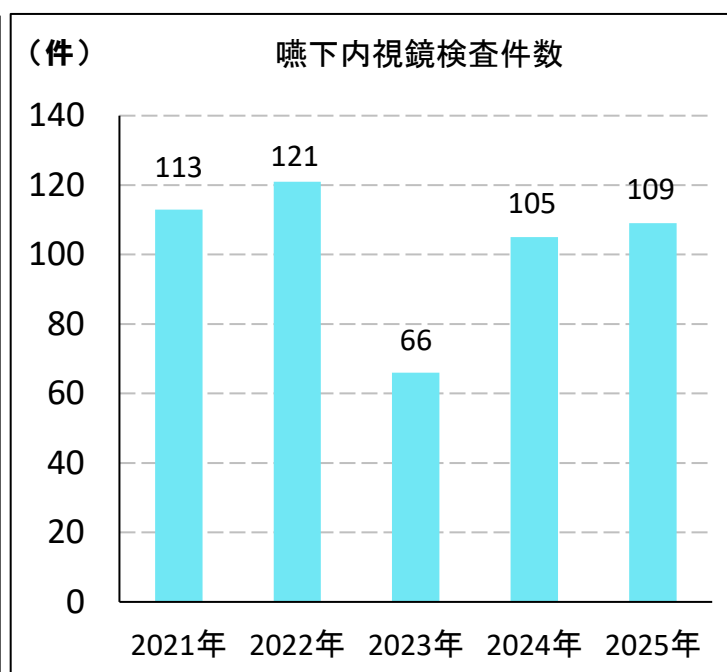
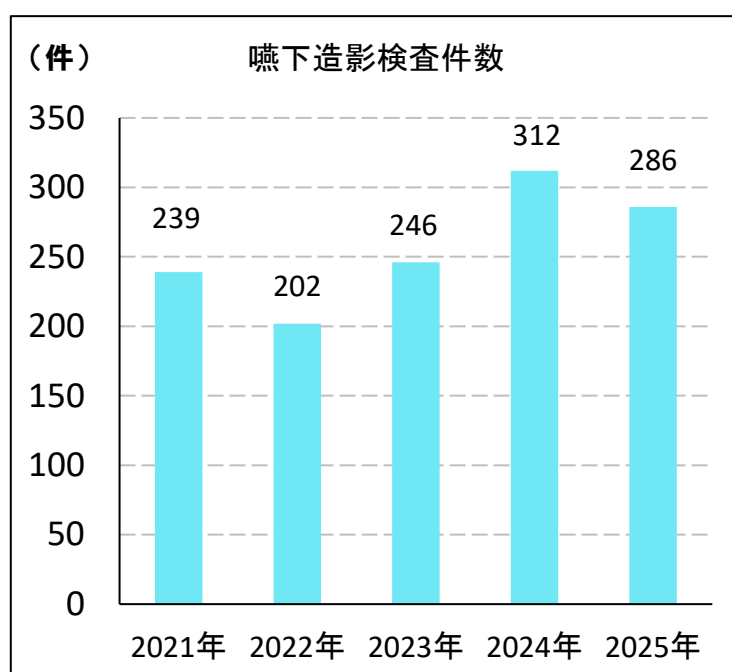
主に太ももから下の膝関節と足関節の動きをコントロールします

短下肢装具：

主に膝から下の足関節の動きをコントロールします

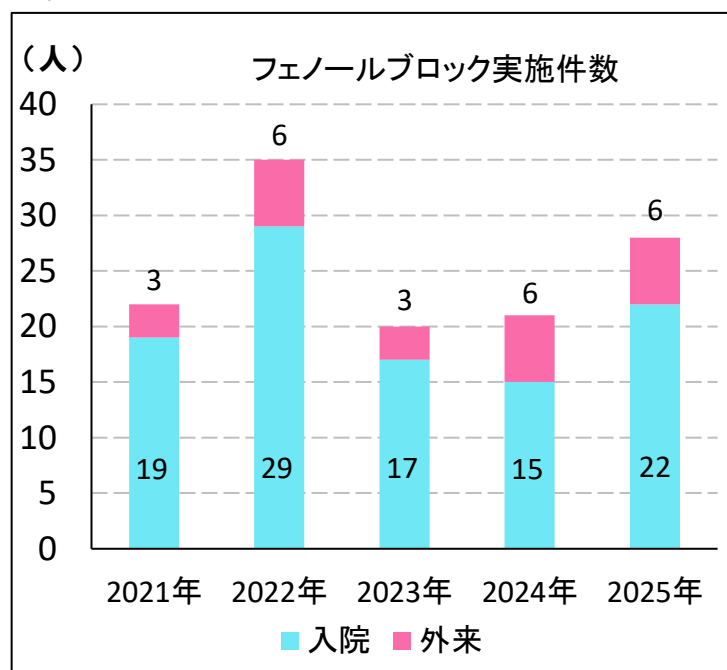
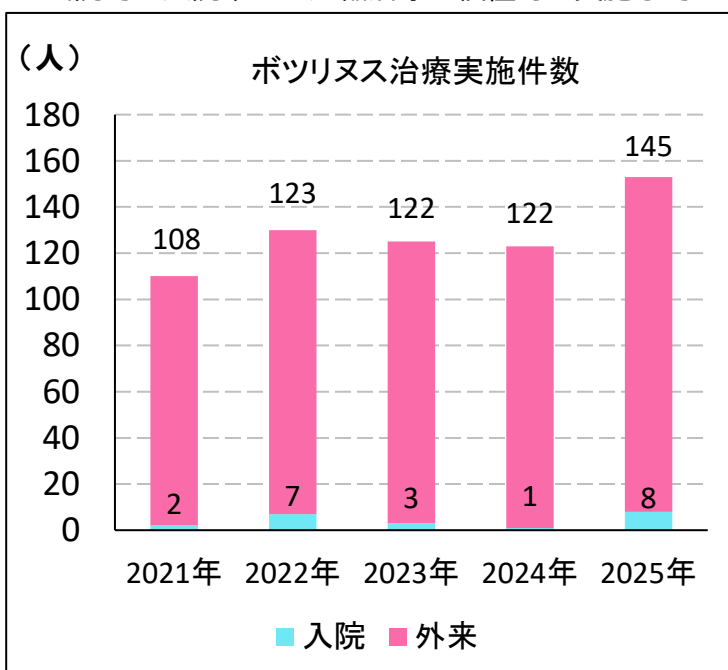


⑭ 嚥下造影検査・嚥下内視鏡検査件数



⑮ ボツリヌス・フェノールブロックの実施件数 (入院・外来)

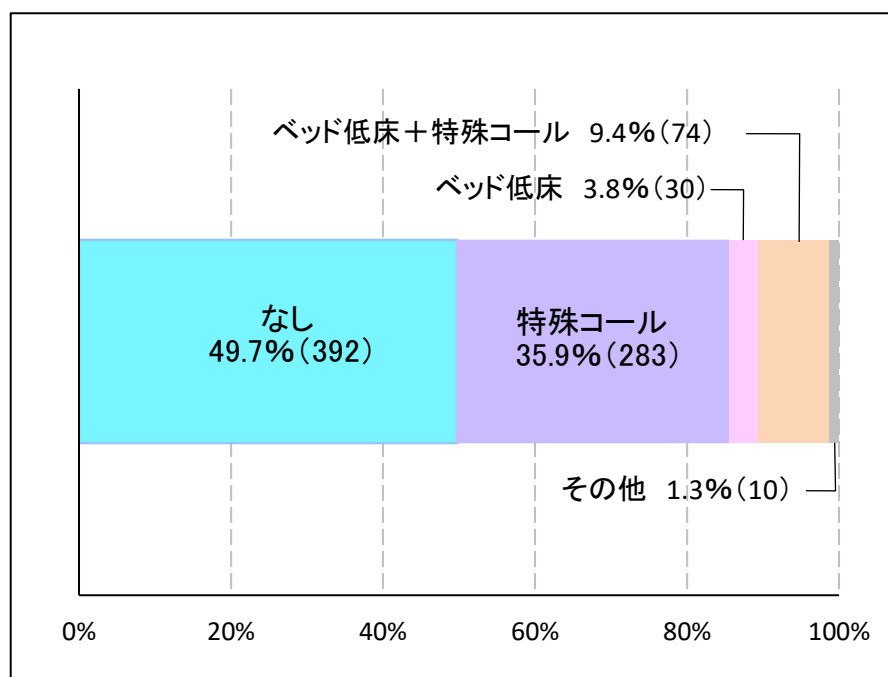
当院では入院中から痙縮治療を積極的に実施しております。



⑩入院時リスク対策の割合 (n=789)

当院では転倒予防対策として、①基準以上の人員配置、②転倒リスクの評価、③転倒予防対策の作成、④環境調整、⑤特殊コール、⑥情報共有の徹底、⑦介護指導を行っています。

入院時に35.9%の方に特殊コールを設置し、ベッド低床（3.8%）等の対策を施行しました。



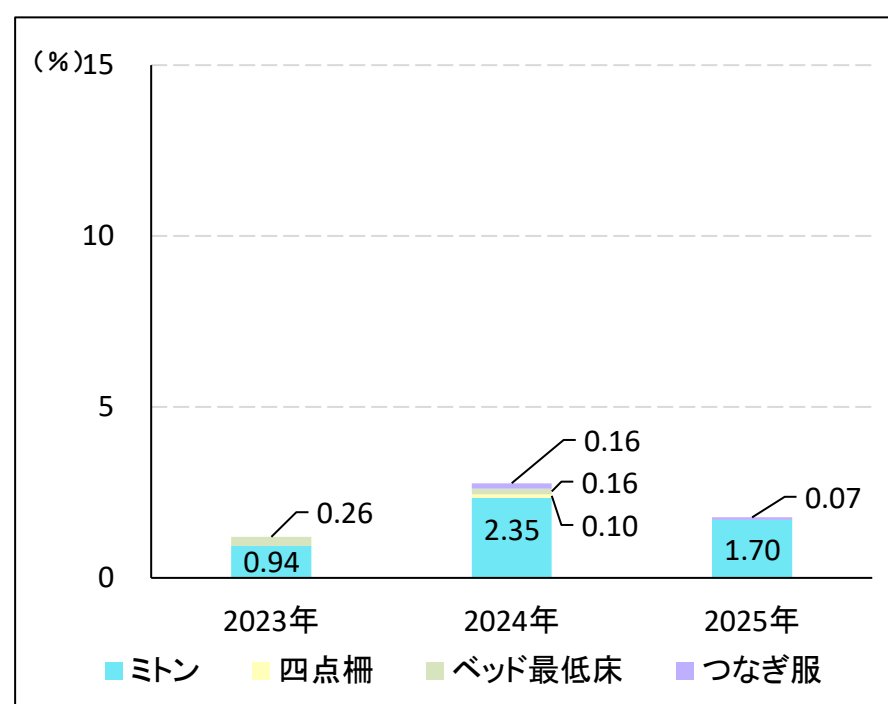
⑪身体的拘束率（抑制帯・ミトン使用）

当院は身体抑制を行わないことを原則として看護・ケアを実践しています。

身体抑制率算出方法：

$\frac{\text{身体抑制を実施した延べ数}}{\text{入院患者延べ数}} \times 100 (\%)$

2024年度までは、ミトン・四点柵・足元短柵・抑制帯を含めた数値となっており、2025年度からは、厚生労働省の定義に基づき、ミトン・抑制帯等で患者の身体や衣服に触れて拘束した場合のみ身体的拘束としております。



⑫患者満足度 (n=173)

とても信頼している、おおむね信頼している合わせて96.0%の評価を頂きました。

患者さまから

「先生をはじめスタッフ皆さまの心が本当に伝わってくる入院生活でした。」

「皆さんの粘り強さ、丁寧な対応、もちろん技術も素晴らしいです。」

などご意見を頂きました。

